

メルコグループ

# Business Report 2019

2018.4.1 — 2019.3.31



# ステークホルダーの皆様へ

To Our Stakeholders

メルコグループは、2018年4月にシマダヤ株式会社が加わりIT関連事業、食品事業、金融事業の3事業体制となりました。これは「森の経営」の考え方に基づくもので、外部環境の変化への対応力を高め、全てのステークホルダーの皆様のために永続的な発展と企業価値の最大化を目指す上での大きな一歩となりました。

次の2020年3月期は“勝負の年”と位置づけ、人口減少や高齢化時代にも必要とされる企業となるべく社内改革も含め推し進めてまいります。経営陣をはじめ社員一人ひとりが勝負していくことで改革は成し遂げられると考えております。そして、創業者の遺志と経営理念であるメルコバリューに基づき、より多くの「喜び」を世の中にお届けできるよう努めてまいります。何卒ご高承のうえ今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2019年6月



株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長

牧 寛之

## メルコバリュー

### 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

### 顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

### 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

### 一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

## 外的環境の変化に耐えうる事業ポートフォリオを構築 千年企業へ、さらなる発展と永続的な成長を

### 政治・経済情勢や気候などにより 目まぐるしく変化する業界市場

当期の日本経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景に回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦を背景とした不確実な政治情勢などの影響により、先行き不透明な状況が続きました。

デジタル家電業界においては、パソコン市場では基本ソフトのサポート保守終了需要で法人向けが伸長し、薄型テレビ市場は低価格化を背景に4K及び有機ELテレビへの買い替えが拡大しました。しかし、スマートフォン市場は一巡感が見られ、タブレット市場は法人向けが好調だったものの個人向けが低迷しました。

一方、生めん業界は、期前半は家庭用及び業務用ともに猛暑のため、冷し関係商品を中心に売上は堅調に推移しました。期後半は高気温などの影響で家庭市場において秋冬商品の売上が伸び悩んだものの、業務市場は調理オペレーションの簡素化が可能な簡便機能商品が伸長しました。利益面では原材料価格やエネルギーコストなどの上昇に影響を受けることとなりました。

### 社会のニーズを捉えた 付加価値ある商品・サービスを提供

当社グループは、目まぐるしく変動する外的環境にも耐えられる強固な事業ポートフォリオの構築を目指し経営を押し進めております。IT関連事業においては、縮小する個人向け周辺機器市場に対応するため、家中どこでも快適につながる独自メッシュ機能を搭載したWi-Fi\*ルーターや故障前に録画番組の引越しを行うサービスを付加したテレビ番組録画用ハードディスクなど、高付加価値商品の販売強化を図りながら、サービス分野である「アパートWi-Fi」や「バッファロー正規データ復旧サービス」の売上拡大に努めました。一方、食品事業においては、健康・簡便・個食志向に対応した商品の販売強化と、成長が見込める業務用冷凍麺市場での売上拡大に努めました。

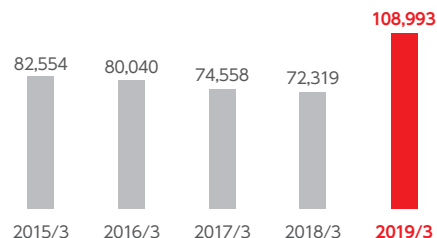
その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,089億93百万円(前年同期比50.7%増)、営業利益59億59百万円(同12.0%増)、経常利益65億20百万円(同2.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益38億2百万円(同26.4%減)となりました。

\*Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

## 売上伸長に頼らず利益を生み出す経営へ 資産活用や成長投資も積極的に展開

近年、IT関連事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、食品事業においても原材料価格・物流コストの高騰や人手不足など解決すべき課題が顕在化しております。このような状況下で、売上伸長に頼らずとも利益を生み出せる経営を推し進めていくため、IT関連事業においては引き続き「アパートWi-Fi」の導入数拡大と、「バッファロー正規データ復旧サービス」の受付数拡大に努めてまいります。また食品事業においては成長市場である業務用冷凍麺の量的拡大、簡便商品である「流水麺」の賞味期限の延長など価値の進化や健康麺の販売強化に努めてまいります。加えて、ロスコストの削減、サービス拠点の拡大と合理化及び事業拡大のためのM&Aなども積極的かつ迅速に行ってまいります。さらにグループ資産を全社的に立って有効活用することで、課題解決に取り組みます。メルコグループでは「メルコバリュー」のもと、今後も千年企業を目指し、さらなる発展と永続的な成長を続けてまいります。

### 連結売上高 (単位：百万円)



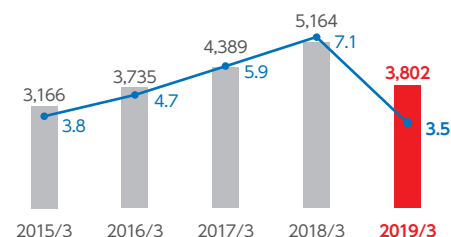
### 連結経常利益 (単位：百万円)

#### 連結売上高経常利益率 (単位：%)

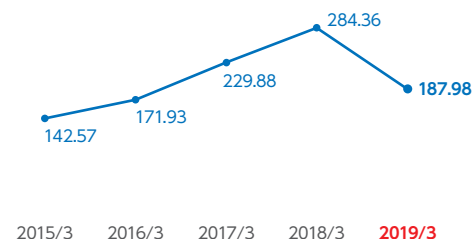


### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

#### 連結売上高当期純利益率 (単位：%)



### 1株当たり当期純利益 (単位：円)



# 中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

IoT(モノのインターネット)時代の  
社会全体での安心ネットワークを提供



パブリックスペースで  
Wi-Fiに  
「つながらない」  
「つながるのが面倒」  
「つながるのが怖い」をなくす

パブリック  
ゲートウェイ  
ソリューション  
Public gateway solution

家庭内でWi-Fiが  
「つながらない」  
「つなげられない」  
「つながらなくなった」をなくす



ホーム  
ネットワーク  
イノベーション

Home network innovation

大事なデータが  
「消失した」  
「消失が怖い」  
「再生できない」  
「使えるが遅い」をなくす

**IoT**  
(Internet of Things)

世の中のさまざまなモノが  
インターネットにつながる時代

データ  
ストレージ  
最適化ソリューション  
Data storage optimization



## ITから食品、金融まで、3事業体制で お客様の生活やビジネスをサポートします

### IT関連事業

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付ハードディスクやネットワークによる遠隔監視が可能な法人向けNASなどのストレージ製品など、デジタル家電やコンピューター周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。ほかにも、デジタルフォトアルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、賃貸集合住宅向けWi-Fiインターネットサービス「アパートWi-Fi」、ストレージ製品のデータ復旧サービスなど、個人・法人を対象にさまざまなサービスやソリューションを提供しております。



Wi-Fiルーター



法人向けアクセスポイント



外付けハードディスク



法人向けNAS



デジタルミュージックライブラリー



おもいでばこ



NEO FITマウス



アパートWi-Fi



データ復旧サービス

## 食品

2018年に発売30周年を迎えた、ゆでずに水でほぐすだけで食べられる「流水麺」をはじめ、うどん・そば・中華麺・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺、冷凍麺、調理麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。



「流水麺」そば



「流水麺」うどん



「真打」そうめん



北海道産そば使用  
石臼挽きそば



「本うどん」糖質40%オフ



「本うどん」食塩ゼロ



「手延べ勝り」うどん



北海道の味めぐり  
「時計台」らーめん  
昔懐かしの濃厚醤油味

## 金融

投資運用業や金融商品仲介業などの事業を通じて、メルコグループの収益安定化に寄与しています。



BCN AWARD  
2019 (2018年1月～12月)  
11部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に基づく  
AWARDです。

無線LAN  
部門

17年連続  
17回目



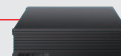
NAS  
部門

6年連続  
6回目



外付け  
ハードディスクドライブ  
部門

11年連続  
16回目



ルーター  
部門

16年連続  
17回目



HUB部門

18年連続  
19回目



LANカード  
部門

20年連続  
20回目



- メモリ部門 10年連続 18回目<sup>(※1)</sup>
- 拡張インターフェース部門 16年連続 16回目<sup>(※2)</sup>
- PC電源部門 8年連続 8回目
- ドライブケース部門 9年連続 11回目
- グラフィックボード部門 16年連続 16回目

※1 メルコグループとして。CFD販売としては8年連続8回目。

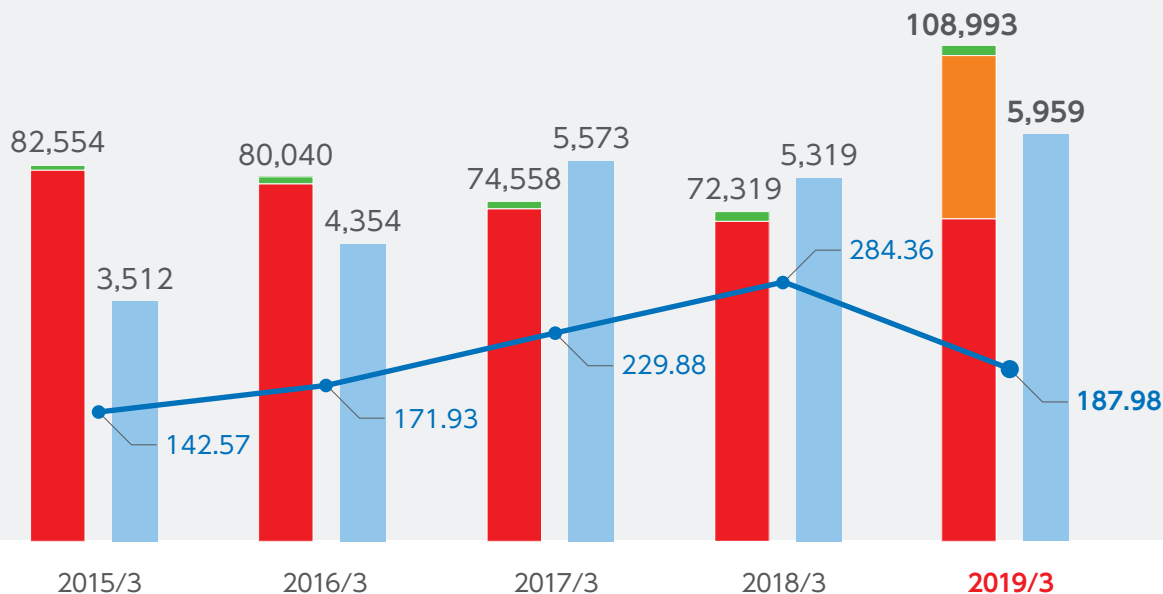
※2 メルコグループとして。CFD販売としては10年連続10回目。

連結売上高 (単位：百万円)

連結営業利益 (単位：百万円)

1株当たり純利益 (単位：百万円)

■ 金融 ■ 食品 ■ IT関連 ■



■ 金融

1,142

1,550

1,547

2,107

2,306

■ 食品

—

—

—

—

35,900

■ IT関連

81,412

78,488

73,009

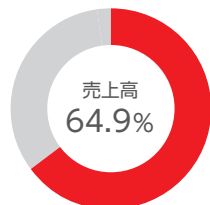
70,210

70,783



## 事業別連結売上高・セグメント利益

### IT関連

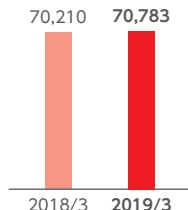


売上高

70,783百万円

前期比 0.8%増 ▲

(単位:百万円)

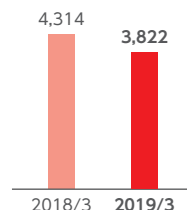


セグメント利益

3,822百万円

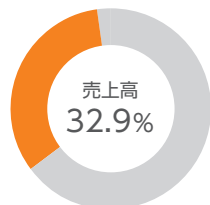
前期比 11.4%減 ▼

(単位:百万円)



個人向け市場においては、家中どこでも快適につながる独自メッシュ機能を搭載したWi-Fiルーターや故障前に録画番組の引越しを行うサービスを付加した外付けハードディスクなど高付加価値商品の拡販に努めました。また法人向け市場においては引き続き、学校での利用を想定して開発された無線LAN機器の導入数拡大を図るため、PR活動や文教関連に強いパートナー様との関係強化に努めました。サービス分野においては、「バッファロー正規データ復旧サービス」で受付件数が累計1万4千件を超えるなど多くの反響をいただきました。また賃貸集合住宅向けWi-Fiインターネットサービス「アパートWi-Fi」は、累計導入戸数が6万戸を超えたものの、サービス体制強化による人員増の影響などによりコストが先行しました。その結果、売上高707億83百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益38億22百万円(同11.4%減)となりました。

### 食品



売上高

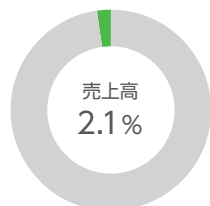
35,900百万円

セグメント利益

1,146百万円

期前半は、さっと水でほぐすだけでゆでずに簡単に食べられる「流水麺」などの冷し関係商品が猛暑などを背景に売上が増加しました。期後半では、家庭用市場においては、年越しそばなどの期間限定商品の販売が好調だったものの、気温が高い日が続いた影響などにより「鍋焼」などの季節商品が伸び悩みました。その一方で、発売30周年を迎えた「流水麺」や食塩ゼロ・糖質40%オフの「本うどん」など健康商品の販売強化に努めました。また業務用市場においては、高齢者の食べやすさと健康に配慮し、麺を細かくカットした食塩ゼロの「きざみうどん」や外食業界の人手不足問題に対応した簡便商品などの量的拡大を図りました。しかし利益面では、原材料価格やエネルギーコストなどの大幅な上昇が影響し伸び悩みました。その結果、売上高359億円、セグメント利益11億46百万円となりました。

### 金融

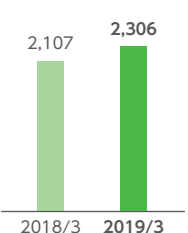


売上高

2,306百万円

前期比 9.4%増 ▲

(単位:百万円)

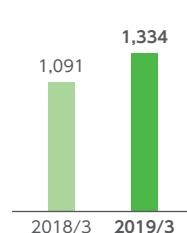


セグメント利益

1,334百万円

前期比 22.3%増 ▲

(単位:百万円)



期後半で世界同時株安など厳しい市況が続く状況下でも堅調に推移し、売上高23億6百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益13億34百万円(同22.3%増)となりました。

## バッファロー社員インタビュー

番組録画データの抱える課題を  
法改正にあわせてタイムリーにクリア

ストレージプロダクト&サービス事業部  
 ストレージマーケティング課 畑田 智宏  
 ストレージ開発課 浜武 大輔



テレビ番組の録画データは他のHDDに単純に移し替えただけでは視聴できず、またHDDが故障した後では二度と手に入らないものもあるので、HDDの故障でデータが失われることへの解決策が求められていました。今回搭載した「みまもり合図 for AV」は、HDDの故障前にLEDでお知らせするという、PC用HDDに搭載されていた機能を応用したものです。また、対になるサービスとして「録画番組引越しサービス」も開発しました。テレビとHDDで紐付けされた録画データを、紐付け情報ごと移行するサービスですが、これまでは著作権法の定めでサービスを展開できませんでした。3年前から構想し、開発に1年。法改正されれば実現可能なサービスとしての青写真はすでにできあがっていたため、施行と同タイミングでのサービス提供が可能となりました。



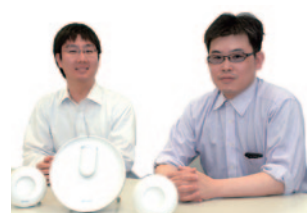
HD-LDS-A シリーズ



HDV-SAMU3-A シリーズ

膨大な仮説と検証の繰り返し  
家じゅうで快適なWi-Fiを実現

ブロードバンドソリューションズ事業部  
 第一開発課 山口 悟  
 狩野 峻広



さまざまな機器がネットワークにつながるIoT時代。最先端の機器を最大限に活用するには、高速で強い電波があらゆる場所で必要になります。「AirStation connect」は、親機と中継機で「メッシュネットワーク」と呼ばれる通信網を構築し、家じゅうすみずみまで快適なWi-Fi環境を提供します。技術者たちがモデルハウスで通信経路の仮説と検証を徹底的に繰り返し、机上ではなく実際の使用状況に沿ってチューニングを進め、その結果に基づいた独自のアルゴリズムは努力の結晶です。バッファローにとっては初めてのメッシュネットワーク製品、今後もユーザーからの声を受け止めて分析し、さらにブラッシュアップを重ねていきたいと思っています。



WTR-M2133HP/E2S シリーズ

## 愛され続けて30年。 独自の技術力で進化を続ける「流水麺」

さっと水でほぐすだけで食べられる「流水麺」の誕生は1988年(昭和63年)5月。ざるそば、冷むぎなど、4品からスタートした商品も、30年を経て29品(2019年5月末現在)を数える商品群に成長。めんりのリーディングカンパニーとして、人口構造やライフスタイルの変化に対応しながら創意工夫を重ね、幅広く愛されるブランドに成長いたしました。



「流水麺」そば



「流水麺」うどん

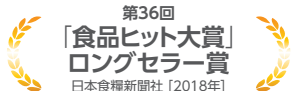
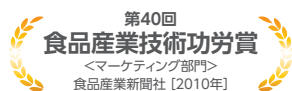
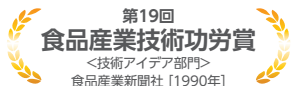
※30周年  
限定パッケージ

### 「流水麺」開発秘話

開発のきっかけは、夏場のゆで麺の消費量の低下でした。「暑いからお湯を使いたくない」「茹でるのが嫌」という声から、火をつかわない、茹でずに食べられる麺を着想。当初は季節商品でしたが、現在は1年中ご愛用いただいております。これからも、もっと、「ゆでずに簡単」な「流水麺」へ進化し続けて参ります!



### 「流水麺」過去受賞一覧



## メルコグループ剣道部、 令和元年の目標はベスト8

2018年4月、剣道経験者である当社代表取締役 牧寛之を部長に据え、メルコグループ剣道部が発足しました。全日本実業団剣道連盟と関東実業団剣道連盟に加盟し、同年6月に「創設60周年関東実業団剣道大会」に参加(3回戦敗退)、9月には「第61回全日本実業団剣道大会」に2チームで参加(本社Aチーム4回戦敗退・茅場町Bチーム2回戦敗退)しました。また2019年3月の「第22回全日本実業女子・高壮年剣道大会」には高壮年の部に1名が出場しました。練習は週末を中心に月に2~3回行っており、部員数は男性17名・女性1名の計18名(2019年3月末現在)で、女子団体戦出場に向け、女性部員を募集中です。今年度の目標は「全日本実業団剣道大会」「関東実業団剣道大会」とともにベスト8を狙います。応援のほど、よろしくお願いいたします。



## 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当期	前期
	2019年 3月31日現在	2018年 3月31日現在
<b>① 資産の部</b>		
流動資産	67,229	56,596
固定資産	21,446	9,421
有形固定資産	14,264	928
無形固定資産	1,068	861
投資その他の資産	6,113	7,631
<b>資産合計</b>	<b>88,675</b>	<b>66,018</b>
<b>② 負債の部</b>		
流動負債	28,510	18,502
固定負債	5,397	1,018
<b>負債合計</b>	<b>33,907</b>	<b>19,520</b>
<b>③ 純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,411	902
利益剰余金	57,441	55,146
自己株式	△7,973	△10,791
<b>株主資本合計</b>	<b>54,878</b>	<b>46,257</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	445
繰延ヘッジ損益	28	△27
為替換算調整勘定	△160	△98
退職給付に係る調整累計額	△144	△79
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△130</b>	<b>239</b>
<b>新株予約権</b>	<b>19</b>	<b>—</b>
<b>純資産合計</b>	<b>54,767</b>	<b>46,497</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>88,675</b>	<b>66,018</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (ご参考) 前期に記載の金額は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及して適用した金額を表示しております。

## POINT

### ① 資産の部

総資産は886億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ226億57百万円増加しました。流動資産は672億29百万円となり、106億32百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加27億72百万円、受取手形及び売掛金の増加42億53百万円、商品及び製品の増加19億91百万円によるものです。固定資産は214億46百万円となり、120億24百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加133億35百万円、投資その他の資産の減少15億17百万円によるものです。

### ② 負債の部

負債合計は339億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ143億87百万円増加しました。流動負債は285億10百万円となり、100億8百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加14億80百万円、短期借入金の増加50億円、1年以内返済予定の長期借入金10億74百万円、未払費用の増加13億21百万円によるものです。固定負債は53億97百万円となり、43億78百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加27億59百万円、退職給付に係る負債の増加17億38百万円によるものです。

### ③ 純資産の部

純資産合計は547億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億70百万円増加しました。これは主に、資本剰余金の増加35億8百万円、利益剰余金の増加22億94百万円、自己株式の減少28億17百万円によるものです。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2018年 4月 1 日 至 2019年 3月31日	自 2017年 4月 1 日 至 2018年 3月31日
売上高	108,993	72,319
売上原価	80,239	53,099
販売費及び一般管理費	22,794	13,900
<b>営業利益</b>	<b>5,959</b>	<b>5,319</b>
営業外収益	1,083	1,066
営業外費用	522	27
<b>経常利益</b>	<b>6,520</b>	<b>6,359</b>
特別利益	249	1
特別損失	1,029	8
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>5,741</b>	<b>6,352</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>1,692</b>	<b>1,392</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>245</b>	<b>△204</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>3,802</b>	<b>5,164</b>

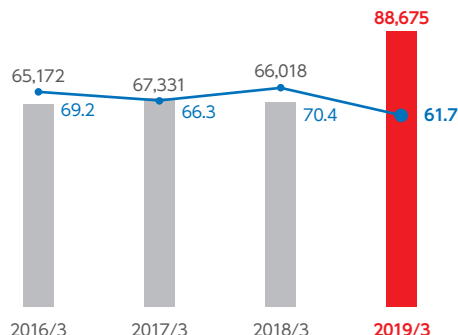
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2018年 4月 1 日 至 2019年 3月31日	自 2017年 4月 1 日 至 2018年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	5,577	4,090
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,083	△733
財務活動による キャッシュ・フロー	△710	△3,579
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△24	△28
<b>現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)</b>	<b>2,758</b>	<b>△250</b>
現金及び現金同等物の 期首残高	4,344	4,595
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	13	—
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>7,117</b>	<b>4,344</b>

## 総資産 (単位：百万円)

## 自己資本比率 (単位：%)



(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (ご参考) 前期に記載の金額は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及して適用した金額を表示しております。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

[melco-hd.jp/ir/top](http://melco-hd.jp/ir/top)

## 国内

### 株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う
従業員数	28名、メルコグループ連結1,822名
グループ企業	会社数23社(国内17社、海外6社)

#### 役員 (2019年6月21日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	福原 賢一
取締役副社長	松尾 民男	取締役	平田 一郎
取締役	井上 武彦	常勤監査役	續木 政直
取締役	木下 紀夫	監査役	小栗 章雄
取締役	斉木 邦明	監査役	植田 和男
取締役	津坂 巖	監査役	柴垣 信二
取締役	中村 規脩	監査役	北村 雅史

### 株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
資本金	3億20百万円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス
従業員数	512名

#### 役員 (2019年5月13日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	矢野 学
取締役副社長	松尾 民男	取締役	牧 大介
常務取締役	渡邊 泰治	取締役	池田 嘉孝
常務取締役	田中 辰吾	取締役	横井 一紀
常務取締役	和田 学	取締役	西脇 孝志
取締役	吉崎 良助	取締役	前田 毅
取締役	石丸 正弥	監査役	竹藤 晴之

### シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation
創業	1931年(昭和6年)7月20日
設立	1949年(昭和24年)3月4日
資本金	10億円
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売
従業員数	323名

#### 役員 (2019年5月14日現在)

代表取締役社長	木下 紀夫	取締役	杉山 龍太
専務取締役	相馬 紳一郎	取締役	松尾 民男
常務取締役	小原 伸之	監査役	新井 満
常務取締役	岩田 功	監査役	豊岡 誠史
常務取締役	岡田 賢二		

## シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

## 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

## メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

## 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守

## アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

## メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

## メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

## 海外

### 〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

### 〈欧州〉 BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

### 〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

### 〈シンガポール〉 Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

(2019年3月31日現在)

## 株式の状況

発行済株式数 22,237,873株 (自己株式2,537,468株含む)

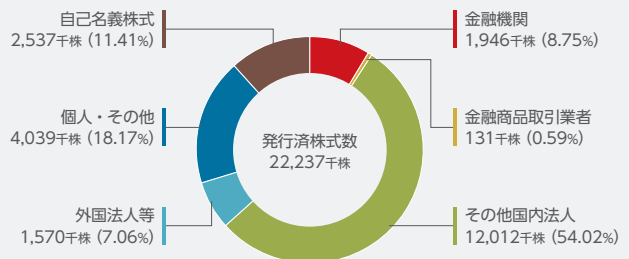
株主数 4,378名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	11,308	57.40(50.85)
牧 寛之	617	3.14(2.78)
牧 大介	617	3.14(2.78)
株式会社名古屋銀行	501	2.55(2.26)
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.54(2.25)
牧 順	395	2.01(1.78)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	384	1.95(1.73)
GOVERNMENT OF NORWAY	287	1.46(1.29)
岡 秀朋	259	1.32(1.17)
牧 廣美	199	1.01(0.90)

- (注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。なお、( ) 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

## 所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 構成比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 <a href="https://melco-hd.jp/koukoku/">https://melco-hd.jp/koukoku/</a>
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

## 株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

東京本社	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー TEL.03-3523-2250(代)
名古屋本社	〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

## 表紙写真

1978年/名古屋・大須のラジオセンターアム横ビルのメルショップにて。  
中央が牧 誠(当時29歳)

## ウェブサイトのご案内

### 株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

### 株式会社バッファロー

製品やサービスの情報や活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

### シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。